



参加費用:無料 定員 120名

HOSEI

法政大学大学院政策創造研究科公共政策群シンポジウム

「迷ったら前へ：力があるから大学院へ行くのではない、大学院へ行くから力がつくのだ」

開催日時：2011年12月3日（土）13:30～（13:00開場）

開催場所：法政大学市ヶ谷キャンパス外濠校舎 S306教室

趣旨：グローバル化時代のプロ人材には何が必要か。社会人にとって大学院は何の役に立つのか。先進国（OECD加盟国）で最下位水準の大学院進学率を「誇る」日本。伝統的な人材育成プログラムは今も有効なのか。それとも制度疲労をすでに起こしているのか。大学院に在籍または修了した社会人たちが体験にもとづいた議論と提言をする。

スケジュール

司会：諏訪康雄<政策創造研究科教授>

13:30～

開会のご挨拶 小峰隆夫<政策創造研究科教授>

13:40～14:25 基調報告 齊藤弘通 <政策創造研究科博士後期課程2年>
「ビジネスパーソンにとっての社会人大学院の意義と効用
～社会人大学院でどんな力が身につくのか?」

ビジネスパーソンの職業能力開発をめぐる「個人主導」の流れを受け、社会人大学院など社外の教育機関で学ぶビジネスパーソンに注目が集まっている。しかし、忙しい社会人がわざわざ大学院に入り、学びなおす意義はどこにあるのか? 昔のビジネスセミナーではなく、なぜ大学院で学びなおす必要があるのか? 社会人大学院とそこに集う社会人について研究する立場から、社会人大学院で学ぶことの積極的な意義と効用について検討する。

(休憩)

14:40～16:20

パネルディスカッション (15:50～ フロアとの質疑応答)

ファシリテーター 中井典絵<政策創造研究科修士課程1年>

パネリスト

石山恒貴<政策創造研究科博士後期課程3年>

早川由美<政策創造研究科修士修了・研究生>

家長千恵子<政策創造研究科修士課程1年>

16:20～

閉会のご挨拶 黒田英一<政策創造研究科教授>

お申込み

パソコン

<https://www.hosei-web.jp/fm/10133.html>

モバイル

<https://www.hoseiweb.jp/fm/m10133.html>

■QRコードからのお申込はこちらより



お問い合わせ

〒162-0843

東京都新宿区市谷田町2-15-2

Tel : 03-5228-1640

Fax : 03-5228-1643

E-mail : rpd-j@hosei.ac.jp

法政大学大学院政策創造研究科からの参加者



研究科長
岡本義行



教授
黒田英一



教授
小峰隆夫



教授
諏訪康雄



教授
田町典子



齊藤弘通（さいとう ひろみち、政策創造研究科 博士後期課程2年）

＜略歴＞1975年東京生まれ。大学卒業後、一貫して企業・自治体等に対する人材開発・組織開発コンサルティングの仕事に携わる。法政大学大学院政策科学研究科修士課程修了。修士課程以来、諏訪康雄教授のゼミに所属し博士課程ではビジネスパーソンの学びの場としての社会人大学院の課題について研究している。専門社会調査士。MBA。

私は人事・組織系のコンサルティングを行う組織で働いていますので、人事、組織、人材開発などに関する最新の知識や考え方をインプットすることや、論理的思考力、調査スキルといったビジネススキルを身につけることは不可欠です。大学院はこうした専門知識の獲得やビジネススキルを身につける上で非常に有用な場でした。



中井典絵（なかい よしえ、政策創造研究科 修士課程1年、フリーアナウンサー、防災士、NPO法人 気象キャスターネットワーク 正会員）

＜略歴＞大学卒業後、広島にてフリーアナウンサーとして活動開始。テレビ・ラジオのみならず、式典・講演会などの司会も行う。2007年からは、NPO法人・気象キャスターネットワークが全国の小学校で展開する『環境出前授業』で講師も務めている。2011年法政大学大学院進学のため東京に拠点を移し活動中。

今年4月から知的好奇心を掻き立てられっぱなしです。学部生の時と違い、自分自身が社会に出て問題意識を持った事を研究できるので。幸運にも私より遥かに意識の高い同級生に恵まれ、人脈を築けています。アカデミックな教授陣や、様々な職種の院生との出会いは、今後の財産になりそうです。



石山恒貴（いしやま のぶたか、政策創造研究科博士後期課程3年 バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 執行役員人事総務部長）

＜略歴＞大学を卒業後、大手電機メーカー、外資系金融会社で勤務後、現職。一貫して人事労務関係の領域を担当。ASTDグローバルネットワークジャパン理事、タレントマネジメント委員会委員長。著書に『上司の教科書』（洋泉社）

社会人大学院が仕事の成果に直接どう結びつくのか、見えにくいと、よく聞きます。私は、明確な関連があると思います。大学院では、アカデミックに検証された思考の枠組みを使って、多様な人々と議論します。これによって、論理的に多様な人々とコミュニケーションする力がつき、これは仕事の成果に直結します。



早川由美（はやかわ ゆみ、政策創造研究科 修士修了・研究生 オフィスLibra（リブラ）代表、ICDSキャリア・コンサルタント）

＜略歴＞2007年まで民間企業にて営業事務、新人教育、役員秘書等担当。2008年から3年間東京都産業労働局職業能力開発センターにて失業者の再就職支援事業に関与し、民間委託職業訓練校のキャリア支援の指導。法政大学キャリアデザイン学部出身。

「学び=インプット」ではなく「学び=アウトプット」であることを修士課程の2年間で身につけることができました。大学院は学術を学びますが、それを自分の生活している社会に活かせるようにきちんと変換してアウトプットすることが、社会人大学院生に求められていると思います。



家長千恵子（いえなが ちえこ、政策創造研究科 修士課程1年 株式会社JTB法人東京コミュニケーション事業部 マーケティングプランニング局マネージャー）

＜略歴＞兵庫県神戸市出身。コンベンション業界でディレクターとして勤務後、2004年に東京へ転勤。コンベンションに特化したWEBシステムのプロデュースを担当。2008年より、現職のマーケティングプランナーとして、法人・団体向けプロモーション企画を担当。2011年4月、法政大学大学院 政策創造研究科 入学。増淵ゼミ所属。

地元神戸市で阪神淡路大震災に合い、その経験から、自分に起こる全ての事象に価値を感じることができるようになりました。その中で生まれる問題意識の解決方法を、多様な価値観を持つ人が集まる大学院で見つけることができると思い入学しましたが、予想以上に有用性の高い経験ができており、成長は無限だと実感できる所です。

アクセス

会場：外濠校舎 S306教室

東京都千代田区富士見 2-17-1
〒102-8160

＜最寄り駅からのアクセス＞
 【JR線】
 総武線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10分
 【地下鉄線】
 都営新宿線：市ヶ谷駅下車徒歩 10分
 東京メトロ：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10分